

# 牧師所感： 日本の高名な反原発弁護士

## — 河合弘之氏の‘能’の演技 —

日本の高名な 河合 弘之弁護士は、浜岡原発 差止訴訟 弁護団長として、浜岡原発を停止に追い込んだ 辣腕弁護士先生である。

ところで キリスト教の牧師としての、筆者が 河合先生とお付き合いになったきっかけは、六本木男声合唱団のメンバーであったからである。

或る時 先生は筆者に、申さん 私達が歌っている レクイエム（鎮魂曲）の中に <sup>あがな</sup>贖い ということばが出ているが、何の意味ですか？ と聞かれた。筆者は喜んで その意味を解説してあげた。それは キリストが 人々の罪の身代わりになって、死なれた と解説した。その時より 先生とは 懇意になった。

さて 先生は 弁護士として 法律家だけでなく、日本固有の藝術‘能’に対して、大いなる敬意を持って 演奏に取り組んでおられる藝術家でもあられる。

今年も 新年早々 年賀状にて、能楽堂での出演のお知らせを戴いた。何年か前にも 観劇した経験がある。ところで 今年はずっと 長時間（2時間）の『安宅』の弁慶（シテ）を演じるというお知らせを受けた。

さて 筆者は 予告の日（24年4月6日「土」）に、単身 能楽堂に足を運び、予告されている演舞を、二時間きっちり 観劇した。その『勸進帳』の弁慶（シテ）を演じ切った方は、言うまでもなく 河合先生であられた。弁護士である先生が、日本の固有の藝術‘能楽’に心酔されるとは 大いに恐れ入った次第である。

さて、ここに 先生が演じられた能楽の開催日と、演目の内容を掲載して、ご理解に任ずる。

### 【お知らせ】

本年（2024年）4月6日（土）午前11時頃より国立能楽堂にて私が「安宅」（歌舞伎でいう「勸進帳」）の弁慶（シテ）を演じます。共演（狂言）は、なんとあの野村萬斎親子です。萬斎氏の演技をナマで、無料で観る機会はまずありません。富樫（ワキ）役は人間国宝の宝生欣哉氏です。なお、字幕が出ますので台詞の理解も簡単で楽しめます。

鑑賞希望の方はまず日程確保のうえ、手紙・FAX 又はお電話にて私の事務所の秘書宛にご連絡ください。

案内状と申込書を送付いたします。

なお 当日の観劇の聴衆は、あの広い能楽堂の 広い座席に、満堂で満たした。然るに 日本の国民が 日本古来の伝統藝術を いかにも愛しているかを 垣間見る瞬間であった。

終わりに 日本の国民に幸せあれ と祈る！！